

別表第 1

更新時講習の講習科目及び時間割り等に関する細目

その 1 優良運転者講習

講習科目	講習細目	講習方法	留意事項	講習時間
	開講 講師の自己紹介 受講者の点呼 講習概要・日程 の説明 受講者の心得の 説明			10分
1 道路交通の現 状と交通事故の 実態	(1) 地域におけ る車社会の実態 (2) 交通事故の 特徴	講義 教本、視聴覚 教材等	○ 宮崎県の実態に応じて、交通 事故、渋滞、交通公害、違法駐 車、暴走行為等について重点的 に説明する。 ○ 地域における事故多発路線、 時間帯、事故類型、原因等につ いて、事故事例と併せて説明す る。	
2 運転者の心構 えと義務	(1) 交通事故の 悲惨さ (2) 無事故無違 反の奨励 (3) シートベル ト、ヘルメット の着用 (4) 交通事故を 起こした加害者 の責任 (5) 交通事故を 起こした運転者 の義務 (6) 負傷者の救 護措置		○ 交通事故の被害者やご遺族 の心情等を理解させ、交通安全 意識の高揚を図る。 ○ 今後における無事故・無違 反、安全運転を奨励する。 ○ シートベルト、ヘルメットの 着用に関し、その必要性と効果 について事例等を用いて説明 し、着用が習慣づけられるよう 指導する。 ○ 交通事故を起こしたり違反 行為をした場合には、当然それ に相応する社会的な非難を受 け、責任を問われることを説明 する。 加害者の刑事上、民事上、行 政上の責任について、裁判例、 点数制度等により説明して、認 識させる。 ○ 警察官に対する報告義務と 通報要領及び事故の再発防止 義務について説明する。 ○ 救急車の到着するまでの間 における負傷者への応急救護 処置等について説明する。	10分
3 安全運転の知 識	最近において改 正が行われた道路 交通法令の知識		○ 受講者の前回の更新後にお いて改正された道路交通法令 のうち、運転者に必要な事項の 要点を説明する。	10分
講習時間合計				30分

その2 一般運転者講習

講習科目	講習細目	講習方法	留意事項	時間
	<p>開講</p> <p>講師の自己紹介 受講者の点呼 講習概要・日程の説明 受講者の心得の説明</p>			10分
1 道路交通の現状と交通事故の実態	<p>(1) 地域における車社会の実態</p> <p>(2) 交通事故の特徴</p>	講義 教本、視聴覚教材等	<p>○ 宮崎県の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。</p> <p>○ 地域における事故多発路線、時間帯、事故類型、原因等について、事故事例と併せて説明する。</p>	
2 運転者の心構えと義務	<p>(1) 交通事故の悲惨さ</p> <p>(2) 安全運転の心構え</p> <p>(3) シートベルト、ヘルメットの着用</p> <p>(4) 交通事故を起こした加害者の責任</p> <p>(5) 交通事故を起こした運転者の義務</p> <p>(6) 負傷者の救護措置</p>		<p>○ 交通事故の被害者やご遺族の心情等を理解させ、交通安全意識の高揚を図る。</p> <p>○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務のあることを指導する。</p> <p>○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性と効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。</p> <p>○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。</p> <p>○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。</p> <p>○ 救急車の到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。</p>	10分
3 安全運転の知識	(1) 最近において改正が行われた道路交通法令		○ 受講者の前回の更新後において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の	20分

	の知識 (2) 危険予測と回避方法等		要点を説明する。 ○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、高速道路通行等に関する具体的危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。	
4 運転適性についての診断と指導	(1) 運転適性診断と指導 (2) まとめ	講義 運転適性検査用紙等	○ 安全運転自己診断等により適性検査を実施し、自らの運転特性を客観評価して自覚させ、結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 ○ 診断結果に基づくタイプ別の具体的な安全運転のコツを指導し、安全運転態度を実行するための動機付けを行う。	20分
講習時間合計				60分

その3 優良運転者講習と一般運転者講習の合同講習

講習科目	講習細目	講習方法	留意事項	時間
	開講 講師の自己紹介 受講者の点呼 講習概要・日程の説明 受講者の心得の説明			10分
1 道路交通の現状と交通事故の実態	(1) 地域における車社会の実態 (2) 交通事故の特徴	講義 教本、視聴覚教材等	○ 宮崎県の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 ○ 地域における事故多発路線、時間帯、事故類型、原因等について、事故事例と併せて説明する。	
2 運転者の心構えと義務	(1) 交通事故の悲惨さ (2) 安全運転の心構え (3) シートベルト、ヘルメットの着用 (4) 交通事故を		○ 交通事故の被害者やご遺族の心情等を理解させ、交通安全意識の高揚を図る。 ○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務のあることを指導する。 ○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性和効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。 ○ 交通事故を起こしたり違反	10分

	起こした加害者の責任 (5) 交通事故を起こした運転者の義務 (6) 負傷者の救護措置		行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。 ○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。 ○ 救急車の到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。	
3 安全運転の知識①	最近において改正が行われた道路交通法令の知識		○ 受講者の前回の更新後において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。	10分
	前半講習のまとめ		○ 前半の講習終了とし、終了する優良運転者に対しては、次回も優良運転者で更新できるよう安全運転者としての誇りを持つことと、優良運転者であってもわずかな心の油断が事故に結びつくことを簡単に説明して終了する。	
4 安全運転の知識②	危険予測と回避方法等	講義 教本、視聴覚教材等	○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、高速道路通行等に関する具体的危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。	10分
5 運転適性についての診断と指導	(1) 運転適性診断と指導 (2) まとめ	講義 運転適性検査用紙等	○ 安全運転自己診断等により適性検査を実施し、自らの運転特性を客観評価して自覚させ、結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 ○ 診断結果に基づくタイプ別の具体的な安全運転のコツを指導し、安全運転態度を実行するための動機付けを行う。	20分
講習時間合計				60分

その4 違反運転者講習（違反運転者講習と初回更新者講習の合同講習）

講習科目	講習細目	講習方法	留意事項	講習時間
	開講 講師の自己紹介 受講者の点呼 講習概要・日程の説明			10分

	受講者の心得の説明		
1 道路交通の現状と交通事故の実態	(1) 地域における車社会の実態 (2) 交通事故の特徴	講義 教本、視聴覚教材等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮崎県の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 ○ 地域における事故多発路線、時間帯、事故類型、原因等について、事故事例と併せて説明する。
2 運転者の心構えと義務	(1) 交通事故の悲惨さ (2) 安全運転の心構え (3) シートベルト、ヘルメットの着用 (4) 交通事故を起こした加害者の責任 (5) 交通事故を起こした運転者の義務 (6) 負傷者の救護措置		<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故の被害者やご遺族の心情等を理解させ、交通安全意識の高揚を図る。 ○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務のあることを指導する。 ○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性と効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。 ○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。 ○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。 ○ 救急車の到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。
3 安全運転の知識	(1) 安全運転の基礎知識 (2) 最近において改正が行われた道路交通法令の知識 (3) 危険予測と回避方法等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 受講対象に応じ、DVD等の視聴覚教材を活用して、安全運転、運転特性等についての理解を深めさせる。 ○ 受講者の前回の更新後において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。 ○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、

			高速道路通行等に関する具体的危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。 ○ 身近な事故事例の説明を行い、それに基づく問題点、なぜ事故が起きたのか、どうすれば回避できたかなどについて、自ら考えさせ意見を出させ討論させる。	
4 運転適性についての診断と指導	(1) 筆記による診断と指導 (2) 運転適性検査器材の使用による診断と指導 (3) 運転シミュレーター操作による診断と指導 (4) 実車による診断と指導	実技等 教本、運転適性検査器材、運転シミュレーター、自動車、視聴覚教材等	○ 所要の運転適性検査用紙により実施し、結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 ○ 運転適性検査器材により実施し、診断結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 ○ 運転シミュレーターを操作させ、交通事故やその他危険場面等について疑似体験させ、運転の危険性を診断し、その結果に基づいて指導を行う。 ○ 実車を運転させ、講習指導員が同乗して運転行動、事故や違反に結び付く危険な運転個癖等を診断し、その結果に基づいて指導を行う。	60分
講習時間合計				120分

※ 講習科目4の細目は、重点を絞り選択して実施すること。

その5 初回更新者講習

講習科目	講習細目	講習方法	留意事項	講習時間
	開講 講師の自己紹介 受講者点呼 講習概要・日程の説明 受講の心得の説明			10分
1 道路交通の現状と交通事故の実態	(1) 地域における車社会の実態 (2) 交通事故の特徴	講義 教本・視聴覚教材等	○ 宮崎県の実態に応じて、交通事故、渋滞、交通公害、違法駐車、暴走行為等について重点的に説明する。 ○ 地域における交通事故多発路線、時間帯等と運転経験の浅い運転者による交通事故類型、原因等について事例と併せて説明する	
2 運転者の心構えと義務	(1) 交通事故の悲惨さ		○ 交通事故の被害者やご遺族の心情等を理解させ、交通安全意識の高揚を図る。	10分

	<p>(2) 安全運転の心構え</p> <p>(3) シートベルト、ヘルメットの着用</p> <p>(4) 交通事故を起こした加害者の責任</p> <p>(5) 交通事故を起こした運転者の義務</p> <p>(6) 負傷者の救護措置</p>		<p>○ 運転者には、交通ルールを守り、常に細心の注意を払って、他人に危害を与えないような速度と方法で自動車等を運転しなければならない義務のあることを指導する。</p> <p>○ シートベルト、ヘルメットの着用に関し、その必要性と効果について事例等を用いて説明し、着用が習慣づけられるよう指導する。</p> <p>○ 交通事故を起こしたり違反行為をした場合には、当然それに相応する社会的な非難を受け、責任を問われることを説明する。 加害者の刑事上、民事上、行政上の責任について、裁判例、点数制度等により説明して、認識させる。</p> <p>○ 警察官に対する報告義務と通報要領及び事故の再発防止義務について説明する。</p> <p>○ 救急車の到着するまでの間における負傷者への応急救護処置等について説明する。</p>	
3 安全運転の知識	<p>(1) 安全運転の基礎知識</p> <p>(2) 最近において改正が行われた道路交通法令の知識</p> <p>(3) 危険予測と回避方法等</p>		<p>○ 運転経験の浅い運転者向けのDVD等の視聴覚教材活用し、安全運転、運転特性等についての理解を深めさせる。</p> <p>○ 最近において改正された道路交通法令のうち、運転者に必要な事項の要点を説明する。</p> <p>○ DVD等の視聴覚教材を活用し、交差点通行、夜間走行、高速道路通行等に関する具体的危険場面を示して、事故原因となる危険行為、危険予測と回避方法等について理解させる。</p> <p>○ 運転経験の浅い運転者の特徴的な事故事例の説明を行い、それに基づく問題点、なぜ事故が起きたのか、どうすれば回避できたかなどについて、自ら考えさせ意見を出させ討論させる。</p>	40分
4 運転適性についての診断と指	(1) 筆記による診断と指導	実技等 教本、運転適	○ 所要の運転適性検査用紙により実施し、結果に基づいて安	60分

導	<p>(2) 運転適性検査器材の使用による診断と指導</p> <p>(3) 運転シミュレーター操作による診断と指導</p> <p>(4) 実車による診断と指導</p>	<p>性検査器材、運転シミュレーター、自動車、視聴覚教材等</p>	<p>全運転の心構えを指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運転適性検査器材により実施し、診断結果に基づいて安全運転の心構えを指導する。 ○ 運転シミュレーターを操作させ、交通事故やその他危険場面等について疑似体験させ、運転の危険性を診断し、その結果に基づいて指導を行う。 ○ 実車を運転させ、講習指導員が同乗して運転行動、事故や違反に結び付く危険な運転個癖等を診断し、その結果に基づいて指導を行う。 	
講習時間合計				120分

※ 講習科目4の細目は、重点を絞り選択して実施すること。